

平成30年7月26日

国立大学法人動物実験施設協議会 会員校 殿

熊本大学生命資源研究・支援センター長

尾池 雄一

(公印省略)

平成30年度実験動物関係教職員高度技術研修  
【ゲノム編集マウス・ラット作製】の開催について (通知)

このことについて、大学等における実験動物関係職員の資質向上と教育・研究の発展を図るため、別紙要領により標記研修を実施します。

については、研修希望者がある場合は 平成30年9月14日(金)(必着) までに、別紙様式1、2に必要事項をご記入のうえ、下記宛先へメールの添付ファイルにてご提出願います。

なお、本通知は、従来の文部科学省研究振興局学術機関課からの通知に代わるものであることを申し添えます。

【本件連絡先】

〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2-1

熊本大学生命科学先端研究事務課 センター事務チーム 古閑義信

TEL 096-373-6635 FAX 096-373-6638

E-Mail : iys-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<別紙要領>

## 平成30年度実験動物関係教職員高度技術研修 【ゲノム編集マウス・ラット作製】実施要領

### 1. 目的

平成30年度は、技術職員委員会の要望も受けて、『ゲノム編集マウス・ラット作製』をテーマとした技術研修を企画した。技術研修内容は、従来の遺伝子改変動物作製の基礎を学ぶとともに、近年、急速に広がりつつあるCRISPR/Cas9システムを用いた標的遺伝子改変マウス・ラットの作製と利用に関する講義と実習からなる。原理を理解したうえで基本技術を習得し、さらに専門家の講義と実習を通じて、自らゲノム編集マウス・ラットを作製して系統保存できるようになることを目的とする。

### 2. 主催

大阪大学医学部附属動物実験施設  
大阪大学微生物病研究所附属感染動物実験施設  
熊本大学生命資源研究・支援センター

### 3. 共催

文部科学省新学術領域研究・先端モデル動物支援プラットフォーム  
日本ゲノム編集学会

### 4. 企画

国立大学法人動物実験施設協議会

### 5. 研修会場・期間・日程

- (1) 会場：大阪大学医学部
- (2) 期間：平成30年11月19日（月）～11月22日（木）
- (3) 日程：別紙のとおり

### 6. 受講対象者及び受講予定者数

国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員及び非常勤職員を対象とする。

### 7. 受講予定者

15名程度

### 8. 申し込み、決定

#### (1) 申し込み

各機関及び各施設の長は、希望者を「別紙様式1、2」により、平成30年9月14日（金）（必着）までに、熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦する。なお、希望者複数の場合は推薦順位を付すこと。

※「別紙様式1、2」は、国立大学法人動物実験施設協議会ホームページ <http://www.kokudoukyou.org/> 「高度技術研修会」よりダウンロードができます。

(2) 決定

熊本大学生命資源研究・支援センター長は、前項により推薦された者の中から研修生を決定し、各機関及び各施設の長に通知する。

9. 研修課題及び内容

(1) 研修課題

【ゲノム編集マウス・ラット作製】

(2) 研修内容

動物実験の関連法規および遺伝子組換え動物に係る法令遵守の理解、さらに従来の遺伝子改変動物作製の基礎を理解するとともに、近年、急速に広がりつつある CRISPR/Cas9 システムを用いた標的遺伝子改変マウス・ラットの作製に関する基礎技術を身に着けるための講義と実習からなる。本研修を受けた技術職員等が各施設に戻り、ゲノム編集マウス・ラットを作製して系統保存できるようになることを目指す。

10. 経 費

研修料は無料とし、研修旅費は熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて負担する。

11. 修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。